

せきぞうあみだによらいざぞう
26. 石造阿弥陀如来坐像

■ 指定日

昭和61年3月25日

■ 種別

兵庫県指定有形文化財 彫刻

■ 年代

鎌倉時代

■ 所在地

朝来市上岩津

■ 所有者

鷲原寺



■ 内容

鷲原寺より200m奥、路傍の小堂の中に安置されている。像高52cm、光背の高さ73cm、基壇を含めると110cmある。基壇は請花反花で飾られ、後背には阿弥陀三尊の梵字が刻まれている。

阿弥陀の定印を結んだ石仏である。背後の銘文には

「釈迦仏冊冊(涅槃)一千二百冊五年(二千の誤)永仁二二(永仁四)丙申」「爲一切経寄進
□□身ハ位覚□□(別行)□□□」

とあり、奥の院洞窟の石仏と同時期に彫刻されたことがわかる。